

【挨拶文】

みなさんこんにちは。

本日は、毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村の3町1村による山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言ができることは、この圏域の可能性を新たに開いていく第1歩になるものと考えております。このような素晴らしい宣言が出来たことについて、厚く御礼申し上げる次第でございます。

我々の圏域は、関東平野の縁端部に位置し、一団の森林による山並みを形成しております。我々には、その森林を守り育てる責任があり、森林の役割、重要性を再確認しなければなりません。

さて、今までは、それぞれの町村でさまざまな環境問題に取り組んでいるところでございますが、脱炭素社会の形成は地球的規模にも及ぶ、大きな課題であり、それぞれの町村単独で挑んでいっては、なかなか解決に至らないのが現実となっております。

そこで、この「山並み連携」により各町村の素晴らしい特徴を活かし、幅広い視点を持ち、そして多くの住民が、互いに手をつなぎ歩んでいくことで、解決の糸口が見えてくるのではないかと考えております。

二酸化炭素の実質排出をゼロにするという大きな課題に対し、広域的に対応することが重要であり、まさに「山並み連携」として取り組むにふさわしい課題でございます。

各町村がそれぞれの強みを活かして連携・協力する「山並み連携ゼロカーボンシティ協議会」は、「森林と木」が

共通の資源であり、この資源を整備し、保全・活用すること、二酸化炭素の削減に貢献し、地球温暖化対策の一躍を担えるのではないかと思います。

この「山並み連携ゼロカーボンシティ協議会」の圏域は、総面積1万6千7百42ヘクタールのうち1万9百75ヘクタール、65.6%の森林に囲まれています。

この森林は、「土砂災害防止・土壌保全」「水源涵養」「生物多様性保全」「地球環境保全」「快適環境形成」「保健・レクリエーション」「文化」「物質生産」といった8つの機能を有しており、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止するなどの大切な役割があります。

それらの森林機能を十分に発揮させるためには、木を伐って、使って、植えて、育てる循環を構築し「健全な森林」を育んでいかなければなりません。

そのためには、「山並み連携ゼロカーボンシティ協議会」の住民のみなさまが森林について学び、愛着を持ち、育んでいくことが大切なことと考えており、将来を担う子どもたちには、是非とも、森林のすばらしさや大切さを肌で感じていただきたい。

そして、次の世代へと引き継いでいくことで、人も森林も持続させていく。そんな「山並み連携ゼロカーボンシティ協議会」でありたいと強く願っているところでございます。

結びとなりますが、この会が末永く、又、地域の方々と共に育めることをご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。